

宇津木台 森遊会 実施報告

「第4回定例活動」

No.2018-04

実施日	2018年7月22日(日) 9:30~12:00	天候：晴れ	記録：金森
場所	宇津木台緑地(八王子市久保山町2-1)		
参加者	参加者：7名(男性5、女性2) 矢島、野原、松山、伊東、中村(弘)、田原、錦織 インストラクター：金森		

実施内容

活動8年目の第四回目。タヌキのものと思われる巣穴の観察と前回に続いて新エリアの笹狩り。

朝から37度を超える猛暑、帰りの車のメーターの気温計は40度を表示していた。

林内は少しは涼しいだろうと入ってみるが湿度が高くあまりかわらない。じっとしていても汗が出てくるし、出だしたら止まらない。作業の前に夏の竹林がどの程度草で覆われているのを見る。明るい部分は見事な雑草となっている。タヌキの巣穴はトンネル状になっており2か所から出入りができるので両側から観察したが留守のようだった。

笹狩りを開始して1時間、参加者1名が具合が悪くなり、座り込んで嘔吐したため、これ以上は危険と判断して早めに切り上げた。オリンパスの休憩室に冷房を入れてもらい雑談しながら回復を待つ。幸いにも大事には至らなかった。今回のような異常な暑さの日は作業は避けるべきと反省した。



朝から体温を上回る37.5度



木陰を求めて出発



サルスベリの花が冴える



モグラが掘った土が点在



まずは夏の竹林へ



明るい部分は見事な雑草



人が近づける状態ではない



滑走路は異常なし



タヌキの巣穴を2か所の出口の両方から攻める 出口の光が見えこの日は何もいなかった



笹刈り開始



じっとしてても汗が出てくる



高温多湿でまさにサウナ状態



ゴミも拾う



早めに切り上げることにした

連絡事項 ・熱中症かつ脱水症状が1名発生した。 ・ボランティア袋小1個を指定の場所に置く。